



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

安倍氏国葬への見解

Q 国葬の世論調査で、賛否は二分し否定的な意見が多くなっている。国会の議論をすることなく多額の税金を抛出することも問題である。私は国葬に断固反対する。市長の見解は。

A 弔意に対して国民一人一人の考え方や価値観は尊重されている。市として慎重に対応したい。

Q 国葬で市や教育委員会は半旗の掲揚や黙とうを静観すること。

A 市民一人一人の考え方や価値観を尊重し慎重に対応する。

島原鉄道廃線跡地

Q 島原鉄道廃線跡地の今後の構想と活用について。

A 自転車歩行者専用道路として整備していく。南島原市と連携したサイクルルートとして、本市の観光資源の魅力を自転車で巡り、市民活動及び交流人口の拡大を官民一体で進めていきたい。

Q 自転車による観光で電動自転車の出番が増えてくると思う。そのために増やしていく計画を要望する。現在、何台所有しているのか。

A 島原城に9台、島原港の観光案内所に7台、鯉の泳ぐまち観光交流センター清流亭に5台と島原駅に5台で計26台を所有している。

学校現場での課題

Q 全国的に教職員の多忙化は改善されていない。本市で時間外勤務の実態はどうなっているのか。

A ノー残業デーや各種行事、会議等の短縮により、昨年度の調査で月80時間を超えて勤務する教職員は延べ小学校2名、中学校24名だった。コロナ前の令和元年度は小学校13名、中学校80名であり減少している。

Q 中学校部活動外部指導者と第3日曜日の「家庭の日」の実態は。

A 中学校部活動外部指導者は59名が登録され、中学校57の部活のうち39の部活で指導されている。「家庭の日」として全中学校で活動を休止することを設定している。

【その他の質問項目】

◇島原市の雇用について、長崎県最低賃金改定額853円への見解、メンタルヘルス対策、障害者雇用、介護事業の実態

◇新型コロナウイルス感染症拡大で保健所や医療現場の勤務実態



バラの会
ほんだ みほ
本田 みほ 議員

明るい未来のために少年議会を

Q 遊佐町の少年議会についてどう思うか。

A 島原市も、若い人たちの力をいかに市政やまちの中で活用するかは大きな課題。非常に関心があり、いい参考事例だと認識した。

求められている実態に即した犯罪被害者等支援を

Q 明石市市民相談室長講師による研修会で何を学びどのように生かすのか。

A 明石市では、被害者のニーズに沿った条例の制定、家賃補助などの日常生活の支援、裁判に係る費用を補助する経済的支援など、切れ目のない総合的な支援体制を確立。特に職員や市民の意識改革のための研修会、地域で被害者を支える体制づくりなど参考に、今後、支援体制の充実に取り組んでいきたい。

人間と猫の共生社会の取組は進んでいるのか

Q 取組は。

A 保健所、民間団体と一緒に現地視察。地域猫について今後の活動を協議している。動物愛護週間に合わせて、犬猫の適正飼養に関するチラシを町内会、自治会で回覧予定。

Q ルールの制定、講習会の開催、腕章やジャケットに「島原市動物愛護ボランティア」という表示などができないか。

A 関係者、保健所と相談し、具体的に検討したい。

Q 官民連携で、飼い主のいない猫、迷惑な猫を減らす・増やさない活動が必要。

A 動物愛護の観点から検討させていただきたい。

【その他の質問項目】

◇男女共同参画社会の実現はいつ？